

# 神奈川県の凍雪害対策

冬季の箱根は、気温が氷点下になることもあり、箱根駅伝ランナーにも車にも厳しい山道になります。神奈川県では道路の凍結を防ぐ薬剤の散布や、除雪などの凍雪害対策を行っています。

## 雪道の安全をまもる車



凍結防止剤散布車

道路が凍るのを防いだり、積もった雪を融かす薬剤を撒く車両。一度に3~4トンの薬剤を積み込むことができます。



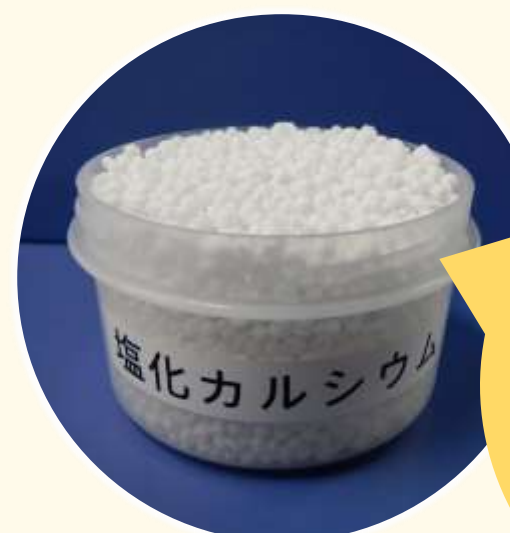
除雪車

道路上に積もった雪を、排土板でかき分ける車両。箱根の道を熟知する、経験豊富な熟練の作業員でなければ操縦できません。

# パトロール 巡視と薬剤散布



12月から3月の間、箱根をよく知る地域の建設業者が、毎日早朝からパトロールを行い、道路の状況を確認しています。その状況により、“塩化カルシウム”“塩化ナトリウム”の2種類の“凍結防止剤”を散布し、道路を凍結から守ります。これらの薬剤を散布する範囲や量を定めるには、箱根の道路をすみずみまで知り尽くした職人の経験が欠かせません。



塩化カルシウム  
★水に触れると発熱  
★即効性はつぐん

雪が積もっている  
場面で有効!

塩化ナトリウム  
★水が凍る温度を  
下げる  
★効果がゆっくり

予防に有効!



気温に応じて薬剤を自動散布する機械も活躍しています。

塩化ナトリウムで錆びてしまう鋼製の橋付近には、専用の液状の凍結防止剤を散布しています。

# 道路を まもる

小田原土木センターでは、箱根町内の国道1号など全長200km以上の国道や県道を管理し、パトロールを週2回行っています。その他にも、様々な道路を守る取組があります。



危険な枝の剪定



事故で破損した橋の修繕



側溝の清掃

道路やその周辺の異常は県の作業専門部隊である“機動班”や、地域の業者が迅速に対応しています。

# 維持管理 道路の

# 舗装の補修工事



舗装のアスファルトを敷き均す様子

道路の舗装は、車の通行などにより劣化していくことから、定期的に調査を行い、その結果に基づき、舗装の補修を行っています。交通量が多い国道1号では、夜間に工事を行うことが一般的です。

# 防災工事



斜面に落石を防ぐ網を張る様子

箱根のように、周りを山に囲まれた地域では、台風による大雨などの時に山の斜面が崩れてしまう危険があります。道路の安全を守るため、様々な手法で斜面を保護しています。

# 施設の点検・補修



函嶺洞門を点検する様子

トンネルのひび割れを補修する様子

橋などの道路施設は、様々な要因で劣化します。小田原土木センターでは、管理する橋、トンネル、道路照明灯や大型案内標識など様々な道路施設を5年に一度点検し、必要な補修を行っています。